

中山間地域ビジネス考案

浜松湖北高佐久間分校生が授業

浜松市天竜区佐久間町の県立浜松湖北高佐久間分校で7日、中山間地域の集落維持を研究する静岡文化芸術大学の学生が特別授業を行った。高校2年生8人に、自分の住む地域の魅力や未来を考えることの大切さを伝えた。



地域の長所を生かしたビジネスモデルを考える生徒ら―浜松市天竜区の県立浜松湖北高佐久間分校

学生とモデル出し合う

地域の長所を生かしたビジネスモデルを考案するワークに取り組んだ。生徒は4人ごとの班に分かれて地域の魅力を出し合い、どんな事業に発展させることができるか考えた。豊かな自然を活用した体験重視のツアー、市街地に農産物やシソジュースのおいしさを広める直売所を設置する案などをまとめた。

学生たちは、若者らの間で故郷の魅力を見いだせない、誇りの空洞化が進んでいることを説明。「地域の宝物は何かを考え、そして考えることをやめないで。みんなの行動が大人の意識も変える」と訴えた。

(水窪支局・塩谷将広)